

平成20年10月10日

半沢 一宣 様

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社業務につきまして格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

このたび、半沢様から頂戴いたしました弊社社長及び鉄道事業本部長宛「特急列車の車内設備のバリアフリー化推進に関する要望書」につきまして、回答申し上げます。

はじめに、「車いす対応座席設置車両の指定席化」につきまして、8000系車両の4号車は多目的室などが設置されていることもあり、他の車両に比べ座席数が少なく、仮に指定席とした場合、指定席の座席提供数が減少してしまうことや指定席車両が分断されるなどの状況が発生します。また、N2000系車両においても同様に指定席の座席提供数が減少してしまうことや、他の2000系特急と指定席車両位置が異なる状況となることから、現在のところ同車両の指定席化は困難な状況です。

次に、「多目的室の存在・用途・利用方法に係る案内・周知の徹底」につきましては、半沢様より頂きましたご指摘なども参考に、絵文字シールを貼付するなどにより、ご利用方法の明示を検討したいと考えております。

最後に、「飲料自販機の車いす対応座席最寄りデッキへの移設と、車いす対応構造化」につきましては、設置にあたってのスペースが限られていることや、車両搭載用の特殊な自動販売機であることから、現在のところ交換することは困難な状況です。

最後になりましたが、今後ともJR四国に対しましてご愛顧賜りますようお願い申し上げます。半沢様への回答とさせていただきます。

末筆ではございますが、半沢様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

四国旅客鉄道株式会社  
営業部サービス担当課長  
川中 政幸

追伸 お送りいただいた80円切手につきましては、お心遣いありがとうございました。

お返しさせていただきますので、よろしくようお願い申し上げます。